

○ 調査問題

9
次の(1)～(3)の文では、()の中の1～4の
どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

(1) 「集中」の対義語は、
1 困難 2 退屈たいくつ
3 安心 4 分散

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 文中にあてはまる適切な対義語を選択する。
【出題の趣旨】 対義語を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	1	2	3	④ 正答	0 無解答	その他
反応率	11.4%	46.9%	6.0%	34.8%	0.9%	0.0%

- 正答率は34.8%である。
- 誤答のうち、「退屈」と解答した割合が46.9%と最も高く、次いで「困難」が11.4%、「安心」が6%となっている。
- 解答で最も多かった「退屈」という誤答の主な原因は、日常生活において、例えば、授業中などの場面において、「(物事に)集中している状態」の反対の意味で「退屈している状態」と感覚でとらえている生徒が多いことにある。日常的に用いている表現の中には、文脈としては反対の意味を表していても、言葉を抜き出して比較してみると、その言葉自体が対義語の関係にならない表現もある。言語に対する正誤・適否・美醜などについての感覚も大切にしつつ、言葉がもつ本来の意味を正しく理解し、判断できるようにさせたい。

○ 指導上のポイント

語彙学習としての体系的な対義語の指導

○対義語は、いくつかの種類に分類できることを押さえることで、体系的に指導することができる。
 (例えば、「互いに補う関係」(「あたり」と「はずれ」など)、「状態の変化に関する関係」(「結ぶ」と「ほどく」など))

違う視点(立場)から名付けられた対義語には、どのようなものがあるでしょうか。

売ると買う です。

貸すと借りる です。

上がる と 下がる
 入る と 出る

この対義語はどんな関係になっているでしょうか。

逆の方向に移動する関係かな。

間違いやすい対義語で意味を正しく理解することを実感させる指導

○「類似問題」(下記)のような間違いやすい対義語を取り扱うことで、日常生活に即して言葉の意味を正しく理解することの重要性を実感させるようにする。

「熱中」の対義語は、次のうちどれでしょうか。普段の生活を思い浮かべて考えてみましょう。

①平凡 ②退屈
 ③夢中 ④寒中

「野球に熱中した毎日」って言うから、その反対と考えると「平凡な毎日」。対義語は「平凡」かな。

参考 **語彙の体系的な指導のために**

語彙のなかの一つに「対義語」があるということをふまえることで、「対義語」だけを取りたてて指導したり、他のものと組み合わせて指導したりすることもできる。

語彙

類義語 対義語

和語・漢語・外来語 同音異義語

上位語・下位語 複合語 多義語

接頭語・接尾語 など

○ 類似問題

である。

3 結果 4 敗北

(1 理由 2 失敗)

(1) 「原因」の対義語は

1 次の文では、() の中の1〜4のどれが最も適切ですか。一つ選びなさい。